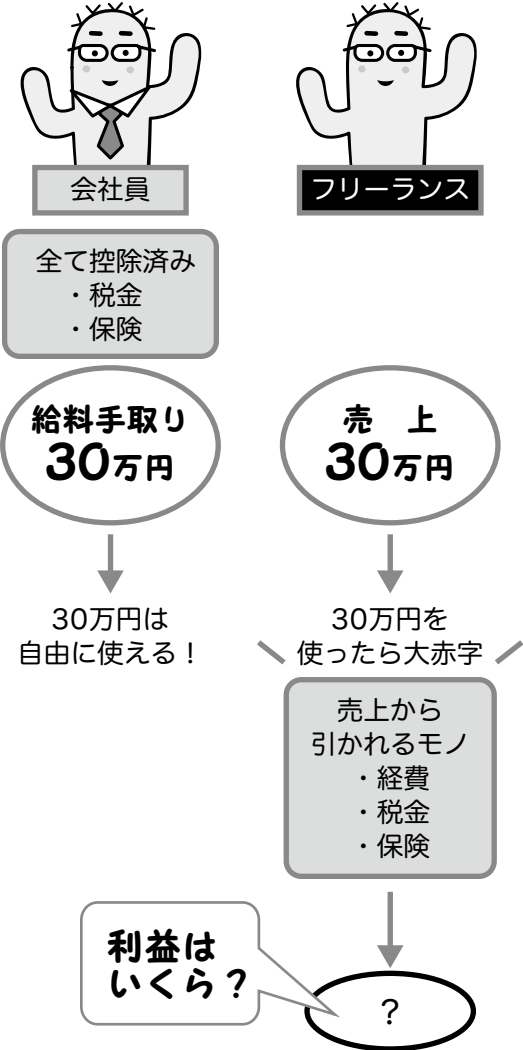


フリーと会社員ではこんなに違う！

預金口座に入金された30万円。同じ30万円でも、フリーランスの「売上」と会社員の「給与の手取額」では全く内容が違います。



8.1 経理をやる目的

- ココがポイント▶
- 経理の目的は、儲かっているかのチェック
 - 売上は全て使えるお金ではない

経理本来の目的は、儲かっているかのチェック！

確定申告の締切間近、深夜にあわてて決算書を作っていると、なんだか税金を納めるために経理作業をやっているような気がしてきます。納税は国民の義務。個人事業は自己申告制なので、いくら所得を得たか、報告義務があります。しかし、税金の計算より大事な目的が、経理にあることを忘れてはいけません。

■ 経理をやる目的

- ① 売上と経費を記録して、儲かっているかどうかチェックする
- ② 納税義務を果たすために、年間所得を計算する

フリーランスの場合、会社員と違って、1年間働いた結果、自分へいくらお給料を支払えるか、いくら自由に使えるか、年末に売上と経費を計算するまで分かりません。しかも、そこから所得税が引かれ、さらに住民税や国民健康保険料や国民年金を支払っていきます。すると、売上から支払うべきものを全部差し引いたら、“えっ、コレだけ？”と驚くことも。最悪赤字になっていることだってあります。

確定申告をして、“バンザイ！ 終わった、終わった！”と、決算書をそのまましまい込こんではいけません。大事なことは、ここからです。確定申告へ向けては“節税しよう！”と所得金額をいかに小さくするかを考えてきました。

しかし、経理本来の目的は、利益を出すことです。それでは、決算データの中身をチェックしてみましょう。